

# 申込みフォーム入力方法

## イベント申込フォーム

赤枠内は必須項目です

※は必須項目です。

参加イベント ※	標的型攻撃メール予防訓練(支部)
参加希望日 ※	例: 2016/04/06
参加者氏名(1) ※	※漢字は姓と名の間に全角スペースを入れてください ※カナは全角カタカナで、姓と名の間に全角スペースを入れてください 漢字: <input type="text"/> カナ: <input type="text"/>
参加者氏名(2)	漢字: <input type="text"/> カナ: <input type="text"/>
参加者氏名(3)	漢字: <input type="text"/> カナ: <input type="text"/>
参加者氏名(4)	漢字: <input type="text"/> カナ: <input type="text"/>
参加者氏名(5)	漢字: <input type="text"/> カナ: <input type="text"/> ※5名以上登録される場合には、再度申し込みをお願いいたします
事業所名 ※	<input type="text"/> 例: 公益財団法人日本電信電話ユーザ協会
会員番号	※会員様のみご入力ください <input type="text"/>
連絡担当者 ※	※姓と名の間に全角スペースを入れてください <input type="text"/> 例: 山田 太郎
住所 ※	〒 <input type="text"/> 例: 101-0031 <input type="text"/> 例: 東京都千代田区東神田2-6-9
TEL ※	<input type="text"/> 例: 03-5820-2071
FAX	<input type="text"/> 例: 03-5820-2072
メールアドレス ※	<input type="text"/> 例: taro@sample.com
メールアドレス(確認用) ※	<input type="text"/> 例: taro@sample.com
お知らせのメール	<input checked="" type="checkbox"/> お得なお知らせメールを受け取る
記事欄	※ご質問やメッセージなどございましたらご記入ください <input type="text"/>

表示される状態のままでお申込みください

お申込み責任者の方のお名前を入力下さい

入力不要  
後ほど訓練参加アドレスをご記入いただく【お申込み専用フォーマット】をお送りいたします。

連絡担当者(お申込み責任者)の方のメールアドレスをご入力ください

この内容でイベントに申込み

入力が完了しましたらボタンをクリックして申込み

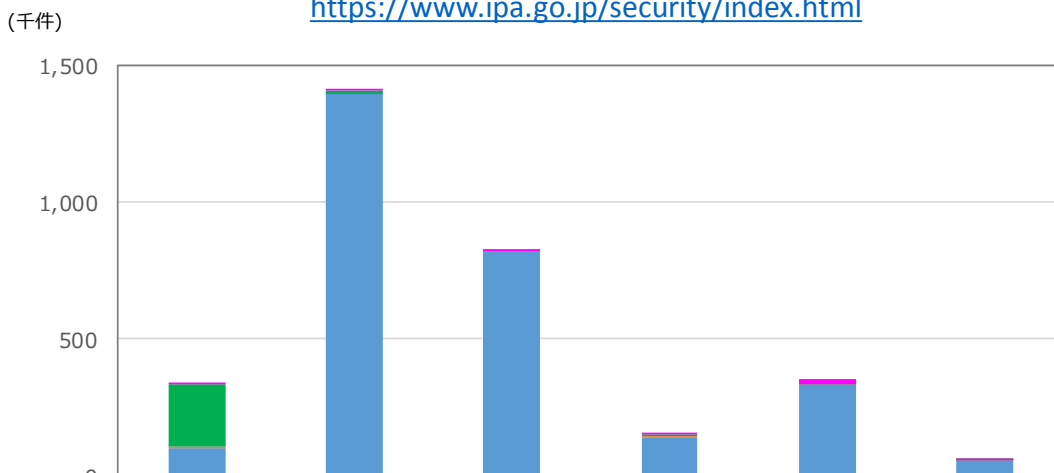
## 標的型メール攻撃の手口

- 「ばらまき型」攻撃の多発傾向が継続  
28年から引き続き、「ばらまき型」攻撃が多数発生し、全体の97%を占めた。これらの中には、配送会社による再配達連絡等を装い、大量に送信されていたものが確認された。
- 大多数が非公開メールアドレスに対する攻撃  
標的型メール攻撃の送信先メールアドレスについては、インターネット上で公開されていないものが全体の90%を占め、過去数年と同様に、高い割合となった。
- 多くの攻撃において送信元メールアドレスを偽装  
標的型メールの送信元メールアドレスについては、偽装されていると考えられるものが全体の62%を占めた。

警察庁 平成29年中におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について より  
警察庁では同じ文面や不正プログラムが10か所以上に送付されていた標的型メールを「ばらまき型」として集計

ウイルスおよび不正プログラムの検出経路と検出数の推移

<https://www.ipa.go.jp/security/index.html>



期間	2017年 4~6月	2017年 7~9月	2017年 10~12月	2018年 1~3月	2019年 4~6月	2020年 7~9月
不明・その他	5,252	3,340	3,281	5,973	14,334	2,840
ネットワーク	228,778	12,252	1,139	2,213	579	447
外部記憶媒体	2	0	3	0	0	1
ダウンロードファイル	5,141	3,591	1,115	8,606	589	365
メール	102,629	1,393,526	820,029	138,417	334,732	54,608
合計	341,802	1,412,709	825,567	155,209	350,234	58,261

「情報セキュリティ10大脅威 2018」

<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2018.html>

昨年順位	個人	順位	組織	昨年順位
1位	インターネットバンキングやクレジットカード情報等の不正利用	1位	標的型攻撃による被害	1位
2位	ランサムウェアによる被害	2位	ランサムウェアによる被害	2位
7位	ネット上の誹謗・中傷	3位	ビジネスメール詐欺による被害	ランク外
3位	スマートフォンやスマートフォンアプリを狙った攻撃	4位	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	ランク外
4位	ウェブサービスへの不正ログイン	5位	脅威に対応するためのセキュリティ人材の不足	ランク外
6位	ウェブサービスからの個人情報の窃取	6位	ウェブサービスからの個人情報の窃取	3位
8位	情報モラル欠如に伴う犯罪の低年齢化	7位	IoT機器の脆弱性の顕在化	8位
5位	ワンクリック請求等の不当請求	8位	内部不正による情報漏えい	5位
10位	IoT機器の不適切な管理	9位	サービス妨害攻撃によるサービスの停止	4位
ランク外	偽警告によるインターネット詐欺	10位	犯罪のビジネス化 (アンダーグラウンドサービス)	9位